

前立腺疾患とは

<前立腺肥大>

未去勢の子がシニア世代になってきたあたりで多く見られます。
男性ホルモンの分泌異常が起こることによって前立腺が肥大する疾患です。

<前立腺嚢胞>

肥大した前立腺内部で構造が徐々に変化し、分泌液や出血に伴う液体が貯留した袋が形成されます。

<前立腺炎>

細菌性膀胱炎に併発することが多く、尿から細菌が感染して前立腺まで炎症を起こすと前立腺炎となります。

<前立腺膿瘍>

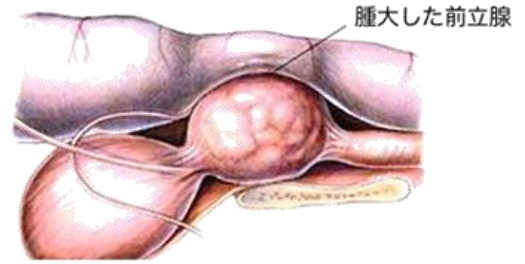
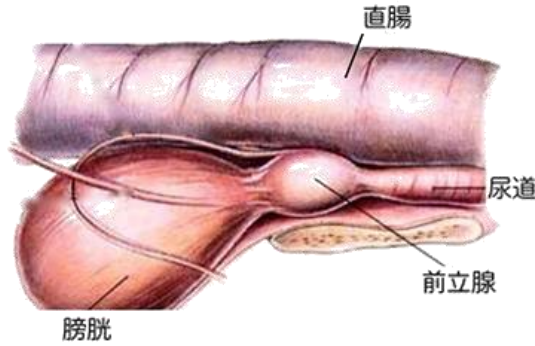
前立腺の細菌感染が重度となり膿が溜まった状態で、膿だまりが破裂したり敗血症になる可能性があるため、命にも関わる厄介な病態です。

《前立腺肥大の症状》

- 排尿困難、しぶり
- 排便困難、しぶり
- 血便
- 血尿

《診断》

レントゲンやエコー検査で前立腺の大きさを確認します。
エコー検査では内部構造も見られるため、嚢胞の確認もできます。
直腸検査を行うことでも肥大の有無を確認できます。



《治療》

◆ 去勢手術

感染を伴わない前立腺嚢胞や前立腺肥大における根本的な治療は去勢手術です。
両方の精巣を摘出することで男性ホルモンの分泌異常を改善します。
年齢や基礎疾患などで麻酔リスクがある場合には、内科治療が選択されます。

◆ 内科治療

感染を伴わない前立腺肥大では、男性ホルモンを抑える内服薬で収縮が見込めます。
しかし7日間(最大でも14日間)しか使用できない上、使用をやめると大半が再発してしまうため手術日までの一時しのぎや症状が強い場合のレスキュー的に使用されます。

感染を伴う場合は抗菌剤が使用されます。しかし前立腺は抗菌剤の効果が届きにくいとされているため、治療が長期化したり、症状がなかなか改善しないことがあります。